

# 安全データシート SDS

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称  
製品名称 P3アルマ 1K シンナー  
製品の種類 塗料(シンナー)

### 会社情報詳細

会社名 株式会社カナイ  
住所 〒601-8314 京都府京都市南区吉祥院井ノ口町26-3  
電話番号 075-691-5066

## 2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

### GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経皮）：区分 3

急性毒性（吸入）：区分 3

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 1

生殖毒性：区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1

### GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

皮膚に接触すると有毒

吸入すると有毒（気体、蒸気、粉じん及びミスト）

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

臓器の障害

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。－禁煙。

容器を密閉しておくこと。  
 容器を接地しアースをとること。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
 保護手袋又は保護衣を着用すること。  
 保護手袋を着用すること。  
 保護手袋及び保護面を着用すること。  
 保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 指定された個人用保護具を使用すること。  
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。  
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 医師に連絡すること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。  
 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。  
 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて除去が難しい場合は外せる  
 外すこと。その後も洗浄を続けること。

#### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

#### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法政令番号 <sup>fi</sup>
1-プロパノール	60 - 80	71-23-8	-
ブチルセロソルブ	20 - 40	111-76-2	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ブチルセロソルブ

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

1-プロパノール， ブチルセロソルブ

GHS 分類区分該当有害成分

腐食シンボル該当成分

1-プロパノール

#### 4. 応急措置

##### 応急措置の記述

##### 一般的な措置

- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 医師に連絡すること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

##### 吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

##### 眼に入った場合

- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

##### 適切な消火剤

- 火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。
- 着火源を取除くとともに換気を行う。

##### 環境に対する注意事項

- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

##### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

##### (火災・爆発の防止)

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

##### 安全取扱注意事項

- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋又は保護衣を着用すること。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

(ブチルセロソルブ)

作業環境評価基準(1995)  $\leq$  25 ppm

許容濃度

(ブチルセロソルブ)

ACGIH(1996) TWA: 20ppm (眼および上気道刺激)

(1-プロパノール)

ACGIH(2006) TWA: 100ppm (眼および上気道刺激)

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状 : 液体

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 : 97°C

引火点 : (1-プロパノール) 15°C

自然発火温度 : 238°C

爆発特性 : 引火又は爆発範囲

下限 : 1.1vol %

上限 : 13.5vol %

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性 (経口)

[日本公表根拠データ]

(ブチルセロソルブ)

rat LD50 =470, 917 mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(1-プロパノール)

rat LD50=2200 mg/kg (環境省リスク評価(第6巻, 2008)

急性毒性 (経皮)

[日本公表根拠データ]

(ブチルセロソルブ)

rabbit LD50=220 mg/kg (ATSDR, 1998)

(1-プロパノール)

rabbit LD50=4000 mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性（吸入）

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ)  
vapor : rat LC50=450 ppm/4hr (SIDS, 2007)

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ)  
ラビット 刺激性 (SIDS, 2006)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ)  
ラビット (OECD TG405, GLP) 21 日後に回復 (ECETOC TR95, 2005)  
(1-プロパノール)  
ラビット 重度 (ACGIH, 2004et al)

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

(ブチルセロソルブ)  
IARC-Gr. 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない  
(ブチルセロソルブ)  
ACGIH-A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
(1-プロパノール)  
ACGIH-A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[日本公表根拠データ]  
(1-プロパノール) cat. 2; rat : ACGIH, 2007  
(ブチルセロソルブ) cat. 2; rat : SIDS, 2006

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

[区分 1]

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ) 血液系、呼吸器、肝臓、腎臓 ( SIDS, 2007; EU-RAR, 2006 )

[区分 3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]  
(1-プロパノール) 気道刺激性

[区分 3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]  
(1-プロパノール) 麻酔作用 ( PATTY 5th, 2001 )  
(ブチルセロソルブ) 麻酔作用 ( SIDS, 2007; EU-RAR, 2006)

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

[区分 1]

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ) 血液系 ( SIDS, 2007; CICAD 67, 2010)

吸引性呼吸器有害性データなし

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性（急性） 成分データ

[日本公表根拠データ]  
(ブチルセロソルブ)

魚類（シープスヘッドミノー）LC50 = 116mg/L/96hr （環境省リスク評価  
第6巻, 2008、他）  
(1-プロパノール)

甲殻類（ミジンコ） LC50=3025mg/L/48hr （EHC102, 1990）

#### 水溶解度

(ブチルセロソルブ)

混和する (ICSC, 2003)

(1-プロパノール)

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2005)

#### 残留性・分解性

(ブチルセロソルブ)

BODによる分解度：96% (既存化学物質安全性点検データ)

#### 生体蓄積性

(1-プロパノール)

log Pow=0.25 (ICSC, 1999)

(ブチルセロソルブ)

log Pow=0.83 (PHYSPROP Database, 2005)

土壤中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

番号：1263

品名(国連輸送名)：

塗料又は塗料関連物質

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：3

容器等級：II

指針番号：128

特別規定番号：163; 367; A3; A72; A192

バルク輸送における MARPOL 条約附属書 II 改訂有害液体物質及び IBC コード

有害液体物質(Y類)

ブチルセロソルブ; 1-プロパノール

### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

#### 労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

ブチルセロソルブ

名称表示危険/有害物(令18条)

ブチルセロソルブ

別表第1 危険物(第1条、第6条、第15条関係)

危険物・引火性の物(0°C ≤ 引火点 < 30°C)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

ブチルセロソルブ; 1-プロパノール

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

#### 消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

#### 化審法

優先評価化学物質  
ブチルセロソルブ  
船舶安全法  
引火性液体類 分類3  
航空法  
引火性液体 分類3

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013) UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN  
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECN06182012)  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012 年)  
JIS Z 7252 (2014 年)  
2015 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
Supplier's data/information

### 責任の限定について

この情報は、私どもの知識の及ぶ限りにおいて正確ですが、当社は内容の正確性又は完全性について何も責任を取ることはできません。  
全ての材料を適当に使用する最終的決定の責任はユーザーのみのものです。  
全ての材料には、未知の危険性があり、取扱いに注意が必要です。ここには特定の危険性について記載してありますが、これ以外の危険性が存在しないことは保証できません。  
本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定される事があります。  
また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いには十分な安全対策を実施の上でご利用ください。  
ここに記載されたデータは現時点では最新の知識及び経験に基づいたものです。  
当該安全データシートは目的製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。従って、ここに記載されたデータは目的製品について何ら保証するものではありません。